



雪崩危険箇所の現地調査を実施しました ～雪崩勉強会を開催～

12月2日(水)、長岡国道事務所と日本雪氷学会雪崩分科会との共催で、雪崩災害防止のため、職員による国道17号の雪崩危険箇所の現地調査(雪崩勉強会)を実施しました。

当日は、湯沢維持・雪害対策出張所管内(湯沢町)の雪崩発生危険箇所において、過去の雪崩災害発生の状況、その後の雪崩予防柵などの雪崩対策施設を確認し、ドローンによる斜面の勾配や植生状況を調査しました。

参加者(12名)で、雪崩の危険性の判断や雪崩防護柵の必要性などの意見交換を行い、冬期の安全・安心な交通確保のため、雪崩災害防止に努めることを確認しました。また、事務所(長岡市)で開催の防災会議とオンラインによる合同調査を行う試みも行い、ドローンの映像などを共有することにより、更なる雪崩災害に対する安全意識の向上が図られました。

【湯沢維持・雪害対策出張所】



雪崩危険箇所現地調査の様子(貝掛地区)



雪崩対策施設調査の様子(八木沢地区)



事務所防災会議とのオンライン合同調査の様子



ドローン調査の動画画面(芝原地区)

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課
TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-36-4582



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとのぬくもり伝える 道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1

<https://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/>

ちよーこく 検索

携帯版

スマホ版

